

FUJIFILM
Value from Innovation

無料・予約制

セキュリティ 対策実践フェア

セキュリティ対策評価制度への
対応準備にむけて

2026

5.13 | Wed.

10:00-17:00

主催

富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社
宮城支社

平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、最新のサイバーセキュリティ対策を一堂に集めた「セキュリティ対策実践フェア」を開催いたします。サプライチェーン全体のサイバーリスクが増大する中、2026年より経済産業省が導入を予定している「セキュリティ対策評価制度」に対応した実践的な対策をご紹介します。

多層の防御策を網羅する展示と、制度対応のポイントや最新の攻撃手法への備えをわかりやすく解説するセミナーから、貴社の情報資産と信頼を守るための情報をお届けできれば幸いです。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

お申込方法

専用のWebサイトよりお申し込みください。詳細は、最終ページをご覧ください。

問い合わせ

富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社 宮城支社

TEL 022-221-2131 (代表)

MAIL dgi-fbj-miyagi-seminar@fujifilm.com

担当 佐々木・小泉

ご存じですか？経済産業省のセキュリティ対策評価制度

サプライチェーン企業を対象とした「セキュリティ対策評価制度」。企業のセキュリティ対策レベルを可視化し、発注者・受注者双方にとって適切なセキュリティ対策の決定や、対策状況の説明が容易になります。それにより、セキュリティ対策が不十分な企業は取引上のリスクとみなされ、取引を縮小・停止されるリスクが高まります。いまこそ対策を講じ制度開始に備えましょう。

セキュリティ対策評価制度の概要（2025年12月時点）

- ・ 2026年度末（2027年3月）を目標に制度を開始予定
- ・ 星3～5のセキュリティ基準を新たに設定し取得企業を公表予定

成熟度の定義	★3	★4	★5
対象企業	全てのサプライチェーン企業	サプライチェーン形成企業	重要インフラ事業の関連サプライヤー
基本的な考え方	一般的なサイバー脅威に最低限対処できる基準	取引先のデータやシステム保護やサプライチェーン強靱化策を標準的に対処できる基準	高度なサイバー攻撃への対応として、組織的なリスクマネジメントとして対処できる基準
対応策	OSの更新やウイルス対策ソフトの導入、パスワード管理やログ管理、従業員教育などの現場レベルで実施可能な 技術的・運用的対策	★3の要件を前提に、組織ガバナンス、取引先管理、責任体制の整備、委託先の監督・管理、インシデント対応訓練の実施など ガバナンスと運用面で対策	国際規格 などにおけるリスクベースの考え方に基づき、自組織に必要な改善プロセスに整備した上で、システムに対しては 現時点でのベストプラクティスに基づく対策
評価スキーム	専門家確認付き自己評価	第三者評価	第三者評価

スケジュール（2025年12月時点）

	2026年度		2027年度以降
	上期(4~9月)	下期(10~3月)	
★3 ★4	制度立ち上げ、運用開始準備	運用開始(想定)	取引企業の公表
★5	基準、評価スキーム検討	※開始時期は未定	
企業の実施事項	対策を講じる		★を取得

本フェアは「セキュリティ対策評価制度★3」で求められる要求事項（案）に対応するソリューションをご紹介します。内容で構成しております。

セミナー

各講演の定員は50名です。
各セミナーは開始時刻の15分前より受付を開始いたします。

S-01 10:30～11:15 (45分)

サイバー攻撃は大企業だけの問題ではない！ ～企業価値を守るためのサイバースイクへの備え～

講師：SB C&S株式会社

近年、サイバー攻撃の矛先は大企業のみならず、企業規模や業種を問わずあらゆる企業が対象となってしまっております。ひとたび被害が発生すれば、業務停止や多額の調査・復旧費用だけではなく、取引停止や信用低下といった長期的な影響ももたらしてしまいます。本セミナーでは、国内における近年のサイバー攻撃の被害事例や動向を踏まえ、企業活動を守るために必要なセキュリティ対策の重要性と基本的な考え方について解説いたします。



S-02 13:30～14:15 (45分)

～2026年度末制度開始！～ 経済産業省 セキュリティ対策評価制度★取得に向けて今すべきこと

講師：富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社
ソリューション&サービス営業統括部 セキュリティチーム

2026年3月27日に経済産業省よりサプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度に関する制度構築方針が公表されました。これにより2026年度末から本制度が運用開始されます。今後、本制度における★取得が取引に影響をおよぼす可能性があり、多くの企業にとって制度対応が大きな関心事になっています。本セミナーでは、★取得に必要なセキュリティツールであるIDaaS、IT資産管理、EDR/MDRについて具体的なツール・サービスをご紹介しますとともに、富士フイルムビジネスイノベーションジャパンが提供する★3取得をサポートする支援サービスについてもご案内いたします。



S-03 15:00～15:45 (45分)

Security Insight ～今、知っておくべきサイバー脅威情勢と対策の考え方～

講師：株式会社AppGuard 上席セキュリティアドバイザー 嶋原祐輔 氏

2025年は国内有名企業が相次いでランサムウェアの被害に遭うなど、話題に事欠かない状況が相次ぎました。生成AIの普及は我々にとって様々な恩恵をもたらす一方で、サイバー犯罪者たちにも恩恵をもたらしています。本セミナーでは、最新のサイバー脅威動向を整理しながら、皆さんが圧倒的に不利な状況に追い込まれていることを認識していただきます。その上で侵害された先人たちから何を学ぶべきか、そして有効な一手となり得るものは何かをご紹介します。



展示一覧

10:00~17:00開催。展示見学の出入りは自由です。

カテゴリ	テーマ	サービス	セキュリティ対策評価制度★3対応
情報セキュリティアセスメント	セキュリティ対策評価制度に対応する富士フイルムビジネスイノベーションジャパンの支援サービス	経済産業省セキュリティ対策制度に対応したSEの支援サービス	●
出入口対策	導入後の運用も支援するセキュリティ対策～beatサービス～	beatサービス/beat air	●
エンドポイント対策	ウイルス侵入後の対策 MDR付きEDR	CrowdStrike Falconシリーズ	●
	ウイルス侵入後の対策 MDR付きEDR	アクトSOC+ SentinelOne	●
	OSを守るエンドポイントセキュリティ	オフィスあんしんセキュリティサービスAG	●
	従来の「運用維持」を中心としたサービスから「セキュリティ対策」までをトータルサポート	IT Expert Services EDR/MDRサービス	●
拡散防止対策	ウイルス被害拡大リスクを軽減できるセキュリティスイッチ	SubGate	●
メール対策	ファイル送受信のセキュリティ強化	SECURE DELIVER	
	クラウド型 ウイルス&スパムメールのフィルタリングサービス	MR-SF	
	メールセキュリティ強化対策	Cloud Mail SECURITYSUITE CYBER MAIL Σ	
内部対策	IT資産管理で脆弱性&内部不正対策を強化	SKYSEA Client View	●
不正アクセス対策	手厚いサポートで強固なセキュリティ対策！	IT Expert Services ID管理	●
復旧対策 (バックアップ)	AWS/Azureを利用したサーバー環境改善はプロにおまかせ！ ～クラウド活用でランサムウェア対策・BCP対策も実現～	<ul style="list-style-type: none"> クラウド運用サービス for Amazon Web Services クラウド運用サービス for Microsoft Azure クラウドあんしんパック for AWS エントリー NASクラウドバックアップ 生成AIを活用した窓口支援サービス 	●
	ファイル共有やクラウドバックアップにも対応するストレージ	QNAP NAS/勝手にオフライン	●
	「イミュータブルスナップショット」でランサムウェアからの攻撃を防ぐファイルサーバ	Synology	●
物理対策	AIを活用し、先を見越した対応が可能な物理セキュリティ	ビデオセキュリティ Verkada	

※ 記載の内容は今後変更となる場合がございます。

展示詳細

10:00~17:00開催。展示見学の出入りは自由です。

情報セキュリティアセスメント



経済産業省セキュリティ対策評価制度支援サービス相談コーナー

主な商材

情報セキュリティアセスメント&ロードマップ策定支援サービス
情報セキュリティガバナンス強化支援サービス

経済産業省セキュリティ対策評価制度 支援サービス相談コーナーでは、制度のご説明やお客様の★3取得への取り組みを支援する弊社のSEサービスをご紹介します。



【現状把握】
セキュリティ対策状況
ヒアリング



【アセスメント】
リスク抽出
リスク評価



【対策立案】
具体的な対策を含む
ロードマップの策定

出入口対策



サイバー脅威に立ち向かう！
導入後の運用も支援するセキュリティ対策 ~beatサービス~

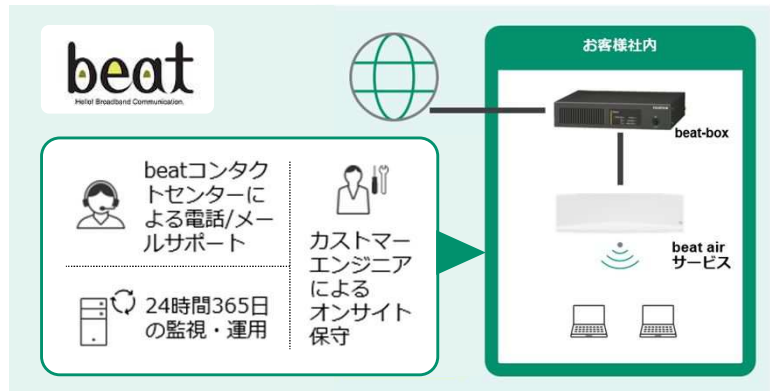
「セキュリティ対策評価制度★3」要求事項（案）

- 4-5-1.内外のネットワークを適切に分離し、境界部分を防護すること
- 5-1-1.ネットワーク上の適切な場所でネットワーク接続やデータ転送を監視すること

主な商材

beatサービス/beat air

- beatサービス
外部脅威をインターネット境界で
しっかり防御
- beat air
無線LANの不正利用を防ぐ、強固な
セキュリティ機能



エンドポイント対策



ウイルス侵入後の対策
MDR付き EDR CrowdStrike Falcon Complete

「セキュリティ対策評価制度★3」要求事項（案）

- 4-4-5.システムをマルウェア感染から保護すること

主な商材

CrowdStrike Falconシリーズ



クラウドに収集された全世界の端末の振る舞いログを監視し、標的型攻撃など高度な攻撃をリアルタイムに検知/ブロックをするエンドポイント製品です。従来のマルウェア攻撃の防御に加え、機械学習とAI、振る舞い分析により、急増しているファイルレス攻撃などの高度な攻撃も検知/抑止することを可能とします。

※ 記載の内容は今後変更となる場合がございます。

展示詳細

10:00~17:00開催。展示見学の出入りは自由です。

エンドポイント対策



ウイルス侵入後の対策 MDR付きEDR アクトSOC+ SentinelOne

「セキュリティ対策評価制度★3」要求事項（案）

4-4-5.システムをマルウェア感染から保護すること

主な商材 アクトSOC+ SentinelOne



自律型AI搭載EDRであるSentinelOneにアクトのSOC（MDR）を組み合わせたサービスです。アクトSOCはアラートの分析やお客様側の推奨作業をお知らせするだけではありません。サイバー攻撃の抑止作業、マルウェアの駆除、改ざんされたシステムのロールバック、設定変更作業もいたしますので、お客様での運用の手間がかかりません。



OSを守るエンドポイントセキュリティ

「セキュリティ対策評価制度★3」要求事項（案）

4-4-5.システムをマルウェア感染から保護すること

主な商材 オフィスあんしん
セキュリティサービスAG

既知・未知および悪意がある・なしに関係なくボディーガードのごとくシステムに対して、「悪いコト」を実行させないという独自技術のセキュリティ対策ツールです。

システムを害する「悪いコト」をやらせない
(オフィスあんしんセキュリティサービスAG)



従来の「運用維持」を中心としたサービスから 「セキュリティ対策」までをトータルサポート

「セキュリティ対策評価制度★3」要求事項（案）

4-4-5.システムをマルウェア感染から保護すること

主な商材 IT Expert Services EDR/MDR対策

WithSecure社のEDRライセンスと、MDRライセンスをお客様に提供し、IT Expert Servicesのアドバリューとして、推奨設定（プロファイル）の提供、隔離解除代行、サービスデスクによる問い合わせ対応を行うサービスです。

IT Expert Services EDR/MDRサービス

WithSecure EDRライセンス

EPP
(NGAV)



EDR



WithSecure MDRライセンス

MDR
(EDR運用代行)



推奨設定（プロファイル）の提供

隔離解除代行

サービスデスクによる問い合わせ対応

※ 記載の内容は今後変更となる場合がございます。

拡散防止対策



ウイルス被害拡大リスクを軽減できるセキュリティスイッチ

「セキュリティ対策評価制度★3」要求事項（案）

4-4-5.システムをマルウェア感染から保護すること

主な商材

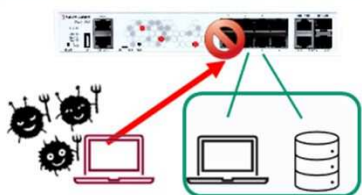
SubGate



SubGate

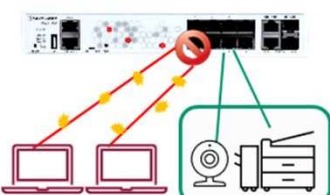
企業へのサイバー攻撃は日々進化しており、感染を前提とした被害を拡げない対策が必要です。ウイルスの拡散防止、各種有害トラフィックによる攻撃のブロック、内部ハッキング・通信傍受のブロックなどの被害拡大リスクの軽減が簡単にできるセキュリティスイッチ『SubGate』をご紹介します。

ウイルス拡散防止



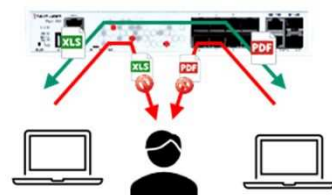
ウイルス拡散時の前兆動作を検知・遮断し、脅威の蔓延を阻止します。

DoS/DDoS攻撃ブロック



大量の packets を端末に送り付け機能を停止させるDoS攻撃など、有害な packets を検知し遮断します。

データ盗み取り防止



通信の間に割って入り、不正に情報を盗み取る行為「ARP-Spoofing」を遮断します。

メール対策



ファイル送受信のセキュリティ強化

主な商材

SECURE DELIVER

SECURE DELIVERは、法人向けクラウド型ファイル転送・送受信サービスで、企業が所有する「大容量ファイル」や「重要データ」を取引先や拠点と安全に受け渡しが行えます。このようなサービス提供によりメールの誤送信や不正利用などによる情報漏えいリスクを軽減し、内部統制の強化を実現します。実際にファイル送受信の使い方などをご確認ください。

IMAGE WORKS
SECURE DELIVER

大容量・重要データ送受信から、電子帳票データ配信まで
ファイル送受信のセキュリティ強化これひとつでOK。



大容量ファイル送受信
シャドーIT・無料サービス利用対策



重要データ送受信
脱PPAP・セキュリティ対策



電子帳票データ送受信
郵送費削減・業務効率化



SaaS型
ファイル送受
信サービス

展示詳細

10:00~17:00開催。展示見学の出入りは自由です。

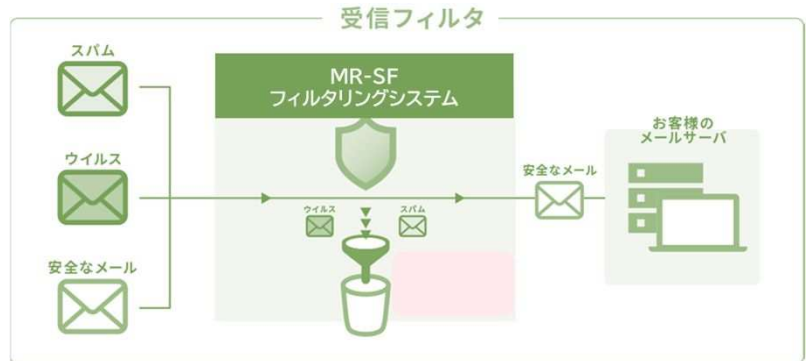
メール対策



スパム撃退率99.8%
クラウド型 ウイルス&スパムメールのフィルタリングサービス

主な商材 **MR-SF**

クライアントPCでの対応が不要なクラウド型の迷惑メールのフィルタリングサービスです。マルウェア・ランサムウェア感染の約90%はメール起因となっています。スパムメールを受信しないことで、セキュリティインシデントを予防します。



メールセキュリティ強化対策

主な商材 **Cloud Mail SECURITYSUITE
CYBER MAIL Σ**

現在ご利用の Microsoft 365/ Google Workspace

日本の企業がビジネスで安全・快適にメールを利用するために必要なセキュリティ機能・管理機能をオールインワンで追加。これ一つで、現在ご利用中の Microsoft365/Google Workspaceをより安全に運用・管理できます。



内部対策



IT資産管理で脆弱性&内部不正対策を強化

「セキュリティ対策評価制度★3」要求事項（案）

3-1-1.ハードウェア、OS及びソフトウェアに関する情報を把握すること。

主な商材 **SKYSEA Client View**

リモートワークなどオフィス以外でのPC利用が進んだだけでなく、スマートフォンなどモバイル機器の活用も目覚ましく、業務に活用される機器の多様化が進んでいます。『SKYSEA Client View』は組織のPCやソフトウェア、スマートフォン等のIT資産を適正管理しシステム担当の工数を削減。また、組織を取り巻く内部不正やサイバー攻撃による情報漏洩リスクに対してあらゆる対策を支援します。



※ 記載の内容は今後変更となる場合がございます。

不正アクセス対策



手厚いサポートで強固なセキュリティ（IDaaSなど）対策！
IT Expert Services

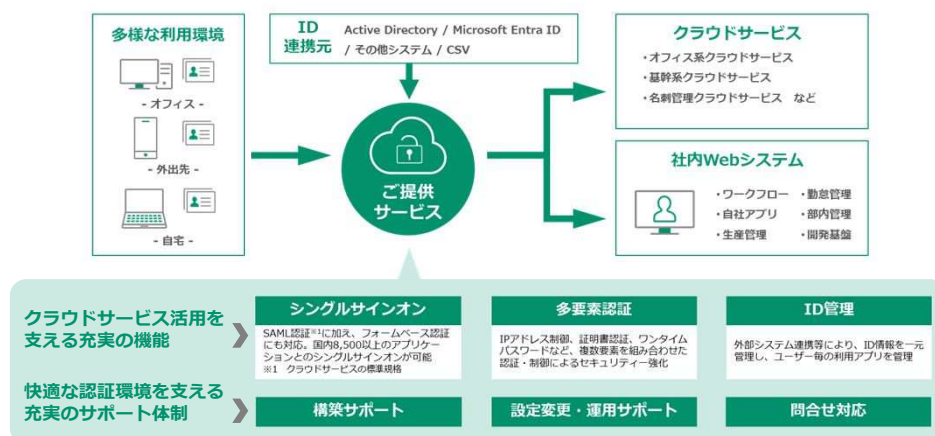
「セキュリティ対策評価制度★3」要求事項（案）

- 4-1-1. ユーザIDの発行・変更・削除の手続きを定めること
- 4-1-2. 管理者IDの発行・変更・削除の手続きを定めること
- 4-1-3. システムや情報の重要度に応じて認証の強度や実装方法を決定すること
- 4-1-4. 社内システムを構成する端末にアカウントロック制御を実装すること
- 4-1-5. パスワード設定に関するルールを定め、周知すること
- 4-1-6. パスワードの管理に関するルールを定め、周知すること
- 4-1-7. 人の異動に伴うアクセス権の管理ルールを定めて、運用すること

主な商材

IT Expert Services ID管理

クラウドや社内システムなど複数のID・パスワードをシングルサインオン化し、業務効率化を実現。多要素認証による堅牢なアクセス管理と不正アクセス対策を兼ね備えた、IT Expert Servicesの新ラインアップをご紹介します。導入から運用までワンストップでサポートします。



復旧対策（バックアップ）



AWS/Azureを利用したサーバー環境改善はプロにおまかせ！
～クラウド活用でランサムウェア対策・BCP対策も実現～

「セキュリティ対策評価制度★3」要求事項（案）

- 4-3-4. 適切なバックアップを実施すること

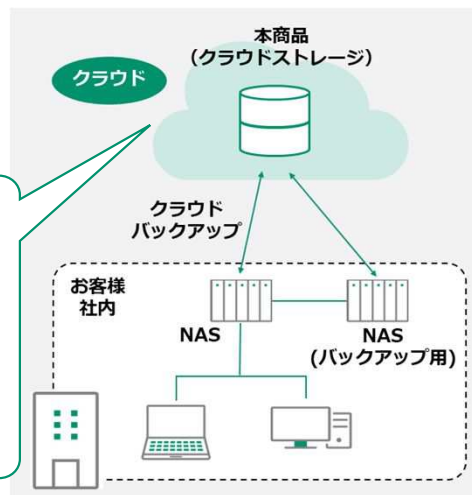
主な商材

- ・クラウド運用サービス for Amazon Web Services
- ・クラウド運用サービス for Microsoft Azure
- ・クラウドあんしんバック for AWSエントリー
- ・NASクラウドバックアップ
- ・生成AIを活用した窓口支援サービス

クラウド活用で、運用負荷軽減、セキュリティ対策、BCPを実現しませんか。AWSやAzureを使った具体的な事例やクラウドのメリット、ランサムウェア対策につながるバックアップやAIを活用したユースケースをご案内します。

- ・AmazonS3互換のオブジェクトストレージ
- ・データセンターは東京と大阪（ご導入時に選択可能）
- ・データ堅牢性は99.999999999（イレブンナイン）*

*1万個のオブジェクトを保存した場合、そのうちの1つが障害によって失われるのに平均で1000万年ほどかかるレベルです。



※ 記載の内容は今後変更となる場合がございます。

展示詳細

10:00~17:00開催。展示見学の出入りは自由です。

復旧対策（バックアップ）



拡張性と信頼性を兼ね備え、異なるOSをサポート
ファイル共有やクラウドバックアップにも対応

「セキュリティ対策評価制度★3」要求事項（案）

4-3-4.適切なバックアップを実施すること

富士フィルムクラウドと連携するBCP対策を目的としたNASをご紹介します。また「勝手にオフライン」は、オフライン制御プログラムとNAS連携により、バックアップ実行時のみオンライン化し、バックアップ完了後は全自動でオフライン化できます。これにより、ランサムウェア被害（暗号化・破壊）のリスクを低減できます。

主な商材

QNAP NAS
勝手にオフライン

QNAP



「イミュータブルスナップショット」で
ランサムウェアからの攻撃を防ぐファイルサーバ

「セキュリティ対策評価制度★3」要求事項（案）

4-3-4.適切なバックアップを実施すること

Synology

イミュータブルスナップショットは、指定された期間内のデータの変更と削除を制限します。また、変更できないスナップショットを含む共有フォルダ、LUN、ボリューム、またはストレージプールは削除できません。そのため、この機能により、データの改ざんや偶発的な操作から保護することができます。

主な商材

Synology

サーバ本体が感染暗号化、Backupデータも暗号化されても、
イミュータブルスナップショットから復元可能です



物理対策



AIを活用し、先を見越した対応が可能な物理セキュリティ

主な商材

ビデオセキュリティ Verkada

Verkada

Verkadaはセキュリティカメラ（監視・防犯カメラ）を中心としたクラウドベースの物理セキュリティソリューションです。あらゆるセキュリティデバイスをクラウドベースの単一プラットフォームに接続し、マウスや指を使った簡単な操作で、組織や資産を大規模に保護できます。



※ 記載の内容は今後変更となる場合がございます。

お申し込み方法

本イベントは、セミナー・展示ともに完全予約制です。
下記の専用Webページより、お申し込みください。

1



QRコードを読み取っていただくか、下記URLをご入力してWebサイトにアクセスします。

https://event.bridge4i.net/vrms/entry/?event_cd=sec2605

2

「部門コード」「担当営業コード」と「お客様のメールアドレス」を入力し「送信」ボタンをクリックしてください。

部門コード

M Y 0 4

担当営業コード

4 4 7 2

申込登録

部門コード

担当営業コード

お客様メールアドレス
※担当営業のメールアドレスではありません

送信

3

メールが届きます。URLをクリック後に、必要情報をご入力して完了まで進めてください。

展示見学のみをご希望のお客様

ご来場いただく時間帯に合わせて、該当のコード【T-01】～【T-06】からご選択ください。
詳しくは専用Webページをご確認ください。

お申し込みについてのお願い

1. セミナーは、お一人様2枠までとさせていただきます。
2. 複数名でご参加される場合でも、お一人ずつお申し込みください。
3. キャンセルや変更がある場合は、担当営業または下記お問い合わせ先まで、ご連絡ください。
4. 当日は名刺を2枚ご持参ください。

会場アクセス



宮城県仙台市青葉区五橋1-1-23 カメイ五橋ビル

- ・ JR仙台駅から徒歩10分
- ・ 仙台市営地下鉄五橋駅から徒歩3分

※会場に駐車場はございません。
最寄りの公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ先

富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社
宮城支社

TEL 022-221-2131 (代表)

MAIL dgi-fbj-miyagi-seminar@fujifilm.com

担当 佐々木・小泉

FUJIFILM 富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社

FUJIFILM、およびFUJIFILMロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。
本ドキュメント上に記載・表示された社名または商品名などは、各社の登録商標または商標です。